



大分県議会議員 2022年 夏号
 県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
 高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
 思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

広瀬知事「物価上昇に対し、国の対策を大いに活用し緊急避難的な事業を進める」

～大分県議会第2回定例会行われる～

2022年第2回定例会が、6月14日(火)から29日(水)にかけて開催されました。

今回の補正額は、国の対策を受けた措置で50億4,874万円。原材料や食料品をはじめ様々のものの値上がりによる経済的な打撃を和らげるため、私立の幼児教育・保育施設や県下内各地の子ども食堂へ助成し、保護者負担を軽減します。また、燃料価格の上昇で打撃を

受ける公共交通へ運行経費などを助成します。

さらに、生活福祉資金の貸し付け事業、生活困窮者向けの小口資金（上限20万円）について、国が受付期限を8月末まで2ヶ月延長したことに対応して予算化しています。

広瀬勝貞・大分県知事は、「物価上昇に対し、国の対策を大いに活用し、まずは緊急避難的な事業を進める。」と説明しています。

大分県にも 夜間中学を!



私が所属している県民クラブでは、大分県での夜間中学の設置を進めていくために、5月29日(日)に大分市のアイネスにおいて、夜間中学ドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」の上映会を開催し、多くの方々に参加していただきました。

現在、中学校夜間学級（いわゆる夜間中学）は15都道府県に40校が設置されています。文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県・政令指定都市に1校は設置されるよう、その設置を促進していますが、大分県にはまだ設置されていません。

上映会の後、これまで夜間中学に勤務し、全国に夜間中学を設立するよう取り組んでいる関本保孝さんからの報告を受けて、参加者との意見交換を行いました。



2020年行われた国政調査の結果、大分県には

521人の成人の未就学の方がいるそうです。また8,759人の方が最終学歴が小学校と答えています。なお、この数には戦前の尋常小学校や、日中戦争勃発後の社会情勢によって設けられた初等教育と前期中等教育を行っていた国民学校を卒業された方も相当数含まれているのではないかと思います。

県民クラブでは、これまで他県にあるいくつかの夜間中学や自主夜間中学を訪ね状況を調査してきました。そこには、様々な事情でこれまで学校に通えなかった方、日本語を学ぼうとする外国人の方、在学中は不登校で学び直そうとしている方など、様々な事情の方が通われていました。

夜間中学で学んだ方の文集の中に、「文字を学んだことで、これまで何の看板が分からなかったのが分かりました。街の風景が白黒テレビからカラーテレビに変わったようでした。」「夜間中学で学ぶことにより、人生を取り戻した。」という言葉もありました。大分県にも夜間中学ができるように県民クラブは頑張ります。



折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
 背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

